

映像解析AI警備で犠牲者をゼロに そしてより安全な社会の実現へ

受賞理由

警備員不足への対応や事故発生の予防といった社会課題に対応する意義深いビジネス。技術の普及と市場の確保を期待したい。

【所在地】 中巨摩郡昭和町西条 5145 【代表者】 秋山一也
【資本金】 1,600 万円 【社員数】 10 名 【URL】 <https://kb-eye.jp/>



KB-eye for 交通制御

警備員のいない片側交互通行を実現する

AI交通制御システム

特許取得済 / 特許申請中

NETIS登録番号：KT-220227-A



片側交互通行の省人化

工事区間両端の警備員を省人化できるため、限られた人数でも片側交互通行の誘導が可能です。国土交通省発注の現場での実績もあり、「人の代わり」に誘導することのできるシステムです。

受傷事故件数をゼロ

もっとも危険な、規制区間両端の人をAIに置き換えることができ、深刻な受傷事故発生のリスクを減らします。また、AIによる質の高い誘導により、現場全体の安全性も向上します。

さらなる付加価値

撮影された映像データや、測定された交通量データ（オプション）の活用により、今までとは一味違った提案も可能です。単なる人からの置き換えに留まらず、現場に対して、より高い価値をもたらします。

： KB-eye for 交通制御とは

KB-eye for 交通制御は、片側交互通行の現場にシステムを設置するだけで、自動的に交通誘導警備を開始します。車両の通過数状況や周辺渋滞情報を自動的に取得することで、最適な信号切替タイミングを判断し、通行車両を滞留させることなく誘導します。既存の工事用信号による機械的な誘導ではなく、より人に近い判断で誘導を行うKB-eye for 交通制御。これまでは多くの警備員がいないと誘導ができなかった片側交互通行の現場でも、配置人数を削減することができる次世代の交通誘導システムです。



： 機能



AIによる統括的な交通誘導



交通状況に応じた誘導の最適化



規制区間内の安全確認



万が一のオペレーター操作



各種データの記録